

なかの夢とぴあ

区民の目線で 中野区改革を

佐野れいじが議会で質問、提案実る

中野区は今年4月から、支給総額約6000万円だった特殊勤務手当12のうち9つを廃止する。継続するのは「特定危険現場作業手当」など3手当(合計約60万円)で、金額にして99%を削減することになる。また、電波障害により、これまでなかの区民テレビが見られなかった約1万6000世帯に対し、佐野議員が議会で提案したチャンネルリース方式により視聴が可能になった。

特殊勤務手当ほぼ全廃

6000万円の99%も削減

佐野れいじ議員が再三にわたり議会で取り上げた特殊勤務手当について、中野区はこのほど12ある特勤手当のうち9つの手当を来年度から廃止する改正条例案を可決した。これにより、平成17年度予算ベースで約6000万円だった支給総額が約60万円となり、今年度比99%の削減となる。

廃止されるのは、土・日などの勤務で支給される「変則勤務者特殊業務手当」(1日勤務で35



中野区役所

際に支給される「障害者・児施設等業務手当」(月額220円、総額406万円)生活保護家庭などの訪問や面接の際に支給される「福祉事務所現業手当」(総額380万円)区道などで死んでいる動物を片付ける

約1万6000世帯に朗報

なかの区民テレビが区内全域視聴可能に

また、佐野議員が一貫して求めてきた情報格差の解消も区が提案を受け入れ、約6300万円の補正予算を組んだことにより、これまで区民テレビによる災害情報などが見られなかった

皆さま、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、平成18年の干支(えと)は戌。犬といえば、真っ先に思い浮かべ



平成18年を迎えるにあたって

るのがいるはカルタの『犬も歩けば棒に当たる』。この「棒」が幸運なのか不運なのか、説が分かれるところですが、一般には何かことを進めようと

雨で床上浸水の被害を受けた約800世帯の方々の住所と氏名を、税金や受信料の減免措置のために要請した都税事務所とNHKに渡し、個人情報保護



中野区議会議員 佐野れいじ

すると思いがけない災難に遭う、という意味に取られています。では、このようなことなのでしようが、昨年11月の報道によれば、9月の集中豪

条例に違反したとして区長より訓告処分を受けた被害者の立場にたつて区民サービスをした担当課長のケースは、も

ではないでしょうか。税の減免や受信料免除が受けられるよう被害者の方々のためにと思ってやったことが、処分の対象にな

う一度しっかり考え直す必要があります。公僕たる者が忘れてはならないのは、区民サービスであり思いやりの心

るなら、区の職員は自分の領域から一歩も出ないで、ひたすら保身を図ることとなるのは目に見えています。23区住民約100

件から上がった反対の意見や、都主税局から起きた疑問の声に耳を傾けないで、「見解の相違」と突っぱねるのは、どこか犬の遠吠えのような気がします。今は改革の時代です。国であれ、地方自治体であれ、そのことには変わりありません。東京23区横並びをよしとするのではなく、中野区は中野区として、真に住民の要望に基づいた独自の施策に取り組んでいく必要があります。私も区政改革に向け力の限りを尽くしてまいります。